

ぶ
り
瓢
箪

ゆくの住む町

電見橋商店街

の者かツ当れしくかのII3ア間番号とあだまくだIIアセ
方と、キるもてセIIも。アル番号はるよる出。うあだ
は代そ一勞きIIンたの政。アIIをキ。うで入こ男ろレ
フ議うド務IIタタ。ま治萬出を間物だトアリの加。と
東士ア事者たこIこね討IIせす達は加決ンオフIIはII
海のす件もことのを論こするえあ番めコる口たきう
林ニねをIIとトシフす会とうよてフ台フかの屋。物をア
大役えどろかあヤロるとば見うIIたのけはアリ益
郎もIうだあるク屋男歌か込ひた。娘たさアリ益
さすレ思ろるのIだののりはは。ゲカ云物とシフま日
んるとIIうとア室け人ヨアなギ、タ、アIIを云コは水の
ど。司まア思、アアお会はIIヤんか方益うかこた
う歌会すロIIあもな宮者などンなのすアん。ようど

水友町見学1举ア多
る||だ橋会加前ト||こ
II。ろはの多にト。の
ま悪う釜巣くなトそ商
のIIトケ。はるかこ店
せこと岐ありと密を街
のと、きでる出公集入は
中はく。だ常。務水党てとま
。譲と者るのII決II
タとん良。は。ポるま路
務云下II創ス。フ地
者わも。鷗伍夕遙てか

だはなぐてつ母。るはIIビスたなくをう
。セフボII左親ドよマテのコそ顔IIしれで
メトンたとにカウスあコミうで。たしん
ンモを。き似ヤダコマモにツ弟IIは
トモはII母てん。ミたI知叫アII務か女
ニはIIン親IIのの。シらんIで者、身
袋女てツかる体アドヤなどIもでみ生
分出IIの表。のケカルII。とははすに
はしたよに豪大庄での顔そ、き腹ば見
あ姿のう水のき報ン顔だの何たからら
り。でなを前II道のと。顔カリII立しれ
そ体大短まをのにト大テは云よフIIる
う重きII通はあ気遣レマIIうら姿と

あとは峰相カリ芝そ党ス務らかエ
るII附びキなツ居う務ト者んあI鷗
。う近かにIIの云者リに下るジ見キII
めボ不けよのボえはツ用II。ツ橋
クスはてずうボスば近ア車るそク商
はタフIIサヒスタドアはか。のと店キ
ミI紳ラ思タIヤカどあこ横II街
門を士よりうIは街なうるのにうに
円見のうIは見不IIは二散スはキ
のた社だマ党見るはとうず軒髪ト窓
とこ交。ン務たか映こわだと屋リ見
きと場な等者ニス画うけかをかツ橋
に加んにをとトとだか、党なフミ

ら男不詫のII男どのもるす覺や
なはあをまるはの人こるIIと
。終云
。まそてかじ店熱客も女れ
どうくは下の濱か高湯みて
こだれいあお不静つのと歌
に。とまるじるに。から自分で
IIだ番れ。の。きととも拍II
るか台ばあの。きとこにこの男アの入か拍手だ
かのたこにのン名るく手ます
か物ん電もか物ほ他す。

ケモアた務庄
ンうじ。者の石
カ加ととは食顔た主フあ他云なもだん上すも大
カだてI届と頃油キ因た仕考知IIを。かIIるにうら知。にげる多き
もカリトは党はシとつ方えら主し実めた。ものおら党政トこII
有勞たでA務、ヨはたなてんてをか。勞あは前ん務らなと。顔
名務。かア者アツキ才五さII顔あII云らぬ務るのが顔者れつも物を
な者まラトのトク違百そたをつたうず務者。レ注だのたてあ偽す
ととたスケトでII円うれした商とう者のあの意。顔話ゆる高る
こあ、のトント不キ。のたけて。店そロは足るせせ當にさ務。のあ
うばIIわでカ住況
だはまれ夜モIIの
。んでるはあのト
おのを音Bフタシ

慰差だIIこのばうだに日リIIる伞え者フづば
謝く。ろんあでロカ犬のアボのかまかロらさ
料出ば方なや知か加ニ。ケガ当くお代当ん
。す水かとじらて食喰とまSIIつほばかて連

ア来 ら顔ベン 率何加絲保チ出
ンごあ虫をンも労やか変鬼を証ン身鷗
をとるけすは多務 ドツく出すコ地見キ。まで用有るシラコドキた
ジで日らる釜II者ボカテ倒しる屋下橋
ロあのだ。のはトケで店産て出のも商
ジる南ト正勞ズはラソのしII玉表知店キ
ロ。海と直務だト 加名てた率にら街
見労電II云者。カ 保モIIかレアレは
て賃車ううにだべ 証違ま、とドアドキ
II者とはかソ すつは客IIカIIカ
た加中度ツIIの みて經のうでるア
。トのだおヤドフ 出II營入はン。ン
トカ出。前なカア 玉る者リリカハの
交はニモ料フにはもの日

廿花の友

渡世にハガキを！

次号が11月発行でありますのが
まつたくゆかりがゆる“労務
者渡世”です。か・ハ・カキをお
待ちしてます。お騒がしくます。

